

会 議 録

会議の名称	令和5年度第2向日向市図書館協議会
開催日時	令和5年3月12日（火） 午後1時30分から午後3時15分まで
開催場所	日向市立図書館 2階おはなしの部屋
出席者	小野原委員、寺田委員、寺町委員、山内委員、金村委員、児玉委員、 渡邊委員、橋本委員 8名 欠席：後藤委員 日高委員 事務局3名 図書館長、図書館係長、図書館職員主任
議 題	(1) 令和5年度 事業取組について (2) 令和6年度 事業計画について (3) その他
会議資料の 名称及び内容	・第2向日向市図書館協議会資料 ・図書館だより「どんぐり」3月号（参考資料） ・統計資料、団体貸出について（ 〃 ）
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>■開会</p> <p>■あいさつ（委員長）</p> <p>■議事</p> <p>(1) 令和5年度 事業取組について</p> <p>事務局から報告。令和5年度中に実施した取組の紹介に加え、前回の委員会以降に受けた「利用者の声」（意見や要望）について説明した。</p> <p><質疑></p> <p>委 員：出張臨時おはなし会は、どのくらいの学校にどの程度行ったのか。子どもの読書離れ対策の参考として伺う。</p> <p>事務局：今年度は4月に小学校へ1回。保育園や幼稚園は月に3～4回。小学校は年2回程。出張体制、依頼により対応を検討する旨を説明。</p> <p>委 員：図書館の読み聞かせを活用するか、保護者でグループを立ち上げるか検討したい。</p> <p>委 員：読み聞かせの効果や学校への出張頻度について議論を促す。</p> <p>委 員：学校でも読み聞かせグループを立ち上げたり、図書館での読み聞かせボランティア養成講座の活用を促す。図書館から補助があっても良いのでは、との意見。</p> <p>事務局：読み聞かせグループ連絡会や読み聞かせボランティア養成講座について説明。</p> <p>委 員：参加者不足やグループの継続について懸念。</p> <p>委 員：上映会の参加人数は。</p> <p>事務局：内容によって変わるが、おおよそ10人前後と説明。</p> <p>委 員：としょかんまつりでは、キッチンカーも来るが、食べる所が少ないと感じた。</p> <p>事務局：席は少し準備した。今後検討する。</p>	

委員：としょかんまつりはもっと大々的に宣伝した方が良い。
委員：昨年度と変わった点は。ひゃっか王からの挑戦状とは。
事務局：内容説明（百科事典を活用したクイズ）
委員：夏休み期間行事や展示会についての意見を求める。
事務局：毎月担当を決めて展示していることを説明。
委員：ブックスタートプラスの取り組み、公式LINEの活用について質問。
事務局：ブックスタートプラスやツープラスの取組自治体は少ないこと、各配布本の種類や配布方法、公式LINEと図書館利用カードのアカウント連携を説明。
委員：移動図書館ステーションの場所は。
事務局：9つのステーションの場所と巡回スケジュールを説明。
委員：（移動図書館車を）イベントに呼ぶことも可能か。返却方法は。
事務局：可能。返却は本館でも公民館図書室でもよい。
委員：雑誌スポンサー制度とは。
事務局：制度の説明、設置要綱の紹介。現在6誌。
委員：図書館通帳に関連して、以前、宮銀出資による財光寺小学校への読書通帳設置に関わった経験を紹介。子どもの読書意欲を高めることにつながるとの意見。
事務局：図書館での通帳導入は検討していない。記録用のシールを出力する機能を紹介。
その他、オーディブル、図書館の朗読CD、大活字本などの活用に関する説明。

（2）令和6年度 事業計画について

事務局から説明。来年度中に予定している事業及び予算について説明した。

<質疑>

委員：春のとしょかんまつりは子どもの読書習慣を意識して行うのか。子ども読書の日は、特に何もしないのか。
事務局：子ども読書の日にちなんで、学校での読み聞かせに出向いている。
委員：読み聞かせグループは今何グループあるのか。
事務局：令和4年度の実績だと13団体ある。
委員：図書館建設に関する準備はどの程度進んでいるのか。建設場所は決まっているのか。
事務局：令和5年度は市役所内でワーキンググループを作り、3グループに分かれて県外図書館の視察を行い、市長へ構想の報告を行った。今後は市民の意見も伺いながら進んでいくと思うが、建設場所などは何も決まっていない。
委員：来年度予算に検討委員会などは含まれないのか。
事務局：総合政策課が所管なので、図書館の予算には組まれない。
委員：複合施設や建設場所に関する意見、市民の参加を促す検討会の重要性に言及。

（3）その他

・団体貸出について

事務局から、団体貸出の概要と実績を説明し、今の方式がどの程度子どもたちのニーズに合っているか懸念していることを述べる。子どもの能動的な読書活動促進や事務の効率化を考えるため、学校現場や委員の率直な意見を求めた。

<意見等>

・学校での子どもたちは大変忙しく、時間を決めて図書室利用を促している。本離れが進んでいる状況。学校の図書室では自分で本を選ぶことで、図書館が選んだ本では人が選ぶ

本を選ぶことで読書の幅を広げる行動につながると考える。

- ・団体貸出の本は各学級に置いてあるので自由に選ぶことができ、昼の読書時間でも活用できている。現状で良いと思う。
 - ・調べ学習では、ここ数年で子どもたちの学び方は大きく変わってきている（タブレットや電子媒体の利用に言及）。
 - ・現在の学校図書室規模、図書の入替など、環境面での課題に言及。子どもたちは図書室には行くが教室にいる時間も長いので、本を手に取りやすい環境を整えている。
 - ・タブレットの活用は進んでいるが、読みたい本を届けてもらうなど、本の良さをうまく取り入れながら活字離れ解消につなげられたら良い。
 - ・家庭から本に親しむ環境を整えるためにも、保護者との連携やボランティア活動は重要。団体貸出は、本を手に取りやすい環境作りに役立っている。
 - ・放課後児童クラブで年齢に応じて絵本を増やしてもらったら利用が増えた。ニーズやリクエストに応じてくれることはありがたい。学校団貸でも可能か。
 - ・状況に応じた対応や学校図書室の活用をお願いしたい。
 - ・タブレットを活用している背景から、電子書籍の導入も検討が必要ではとの意見。
- 事務局：団貸でのリクエスト対応は体制上難しいが、調べ学習でリクエストがあれば可能。
(その他、貸出が活発な細島公民館図書室の取組について意見交換。)

■閉会